

審 議 (会 議) 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県災害医療対策会議
開催日時	平成30年3月27日(火) 19:00~20:00
開催場所	神奈川県総合医療会館1階 AB会議室(横浜市中区富士見町3-1)
(役職名) 出席者	<p>神奈川県医師会副会長 武内 鉄夫(会長)</p> <p>神奈川県医師会理事 (神奈川県災害医療コーディネーター) 久保田 毅</p> <p>神奈川県病院協会常務理事 三角 隆彦</p> <p>神奈川県歯科医師会理事 村田 拓也</p> <p>神奈川県薬剤師会副会長 後藤 知良</p> <p>神奈川県看護協会専務理事 渡邊 二治子</p> <p>藤沢市民病院診療部長・救命救急センター長 (神奈川県災害医療コーディネーター) 阿南 英明</p> <p>横浜市立大学医学部救急医学教室主任教授・横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター部長 (神奈川県災害医療コーディネーター) 竹内 一郎 (代理 高度救命救急センター助教 酒井 拓磨)</p> <p>神奈川県立循環器呼吸器病センター所長 (神奈川県災害医療コーディネーター) 中沢 明紀</p> <p>横浜市立みなと赤十字病院救急部長 (神奈川県災害医療コーディネーター) 中山 祐介</p> <p>聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター副センター長 (神奈川県災害医療コーディネーター) 森澤 健一郎</p> <p>日本赤十字社神奈川県支部事業部救護課長 笹子 敦</p> <p>第三管区海上保安本部警備救難部環境防災課長 渋谷 卓矢 (代理 環境防災課専門官 小山 秀之)</p> <p>神奈川県警察本部警備部危機管理対策課長 菅野 重和 (代理 危機管理対策課対策第一係警部補 山川 淳平)</p> <p>神奈川県消防長会会長(川崎市消防局長) 田中 経康 (代理 川崎市消防局警防部長 松野 忍)</p> <p>横浜市医療局医療政策課 救急・災害医療担当課長 栗原 政幸</p> <p>川崎市健康福祉局保健医療政策室担当課長 本山 実</p> <p>相模原市健康福祉局福祉部参事兼地域医療課長 増田 美樹夫</p> <p>横須賀市健康部次長(地域医療推進課長) 川名 理恵子</p> <p>藤沢市保健所地域保健課長 加藤 敦 (代理 地域保健課主幹 加藤 財英)</p>

	<p>神奈川県町村保健衛生連絡協議会代表 (寒川町健康こども部健康・スポーツ課長) 亀井 正人 神奈川県安全防災局安全防災部災害対策課長 佐川 範久 (代理 災害対策課応急対策グループリーダー 一倉 由美子) 神奈川県保健福祉局保健医療部健康危機管理課長 大久保 久美子</p>
次回開催予定日	未定
問い合わせ先	<p>保健福祉局保健医療部健康危機管理課 健康危機管理グループ 田村 電話番号 045(210)4634 (直通) ファックス番号 045(633)3770</p>
会議の議事	<p>1 開会 2 あいさつ 3 神奈川県災害医療対策会議設置要綱の改正について 4 会長及び副会長の選任について 5 議事 (1) 報告 ア 平成29年度神奈川県災害医療関係事業の報告について イ 神奈川県保健医療救護計画の改定について (2) 議題 ア 平成30年度神奈川県災害医療関係年間スケジュール(案) イ 災害医療関係会議のあり方について</p> <p><あいさつ> (大久保健康危機管理課長)</p> <p>○ 神奈川県保健福祉局健康危機管理課長の久保と申します。どうぞよろしくお願いたします。本日は、年度末のお忙しい中にもかかわらず、多くの委員の皆様にお集まりいただき、厚く御礼申し上げます。</p> <p>○ この会議は平成25年8月に設置され、より広範囲な災害時の医療救護のあり方を協議する場として、災害発生時や平時における災害時医療救護体制全般や医療活動、人材育成、研修・訓練などのあり方等を検討するため、広く関係機関の皆さんの参画を求め、協議を行う会議であり、今回で5回目となります。</p> <p>○ 本日の会議では、会議のあり方の見直しに伴う要綱の改正と、会長、副会長の選任について、まずお諮りしたいと思います。続きまして、報告事項として、今年度の事業の実施状況や県内の災害拠点病院及びDMATの現状、神奈川県医療救護計画の改定についてご報告いたします。</p> <p>○ 医療救護計画の改定については、昨年度のこの会議で改定の趣旨やスケジュールについてご説明いたしました。平成28年4月に発生した</p>

熊本地震への対応の検証、また、その後昨年7月に厚労省から発出された国の制度見直しを踏まえ、計画に反映させました。計画の名称も神奈川県医療救護計画から神奈川県保健医療救護計画に変更しています。

○ 本日の会議にご参加頂いている皆様の所属組織や市町村をはじめとして、多くの関係者の皆様からご意見をいただき、それを反映させることで充実した内容になったと思います。御礼申し上げます。後ほど担当から概要をご説明させていただきます。

○ 議題としては、来年度の事業のスケジュールと災害医療関係会議のあり方についてとしています。本日の会議である神奈川県災害医療対策会議は、神奈川県の災害医療関係の会議の一番上位に位置する会議です。現在、その下に専門部会が設置されております。それ以外に、コーディネーター会議やDMAT連絡協議会等の会議体がありますが、役割が重複していたり位置付けが明確でないなどの課題がありました。今回これを整理し、DMAT連絡協議会、コーディネーター会議でご意見を頂きながら見直し案を提出しましたので忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

○ 計画は改定されましたが、今後はこれをもとに、全ての市町村、関係機関、関係団体の皆さんと連携して、計画を推進し、特に神奈川県で災害が発生した際には、迅速に初動対応ができるようにさらなる災害医療体制の強化に努めてまいりたいと思います。今後とも一層のご理解ご協力をお願いいたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

<議事等>

(事務局)

○ 本来であれば当会議の会長に、議事の進行をお願いするところがありますが、昨年度までの会長と、2名の副会長のうち1名の副会長が当会議の構成員ではなくなりましたので、会長と副会長を選任するまでは、事務局で進行させていただきます。

(次第3「神奈川県災害医療対策会議設置要綱の改正について」について説明)

○ 何かご質問等がございますでしょうか。ないようであれば、この案でお認めいただいてよろしいでしょうか。

(出席全委員の了承)

○ 続きまして次第の4、当会議の会長及び副会長の選任について説明させていただきます。

○ 事前に、事務局で会長・副会長の人選について、調整させていただき、事務局（案）として、会長は、県医師会/副会長の武内先生、副会長は、北里大学病院の浅利先生にお願いしては、と考えています。本日、欠席されている浅利先生には、事前に承諾いただいております。皆様いかがでしょうか。

（出席全委員の了承及び武内委員承諾）

○ それでは、武内会長、これより議事の進行をお願いします。

（武内会長）

○ 6月から県医師会の執行部の体制が変わりまして、担当副会長となりましたので、今後ともよろしくをお願いします。規約にもありましたが、この会議は、大規模災害発生時の医療救護体制について、関係機関の皆様と災害時の医療救護のあり方を討議していただく重要な会議と位置付けられております。皆様から、忌憚のないご意見を頂きながら、進めていきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願いたします。

○ それでは、これより次第5の議事に入らせていただきます。報告のア「平成29年度神奈川県災害医療関係事業の報告について」、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

（報告ア「平成29年度神奈川県災害医療関係事業の報告について」について説明）

（意見、質問なし）

（武内会長）

○ 次に、イ「神奈川県保健医療救護計画の改定について」事務局より報告をお願いします。

（事務局）

（報告イ「神奈川県保健医療救護計画の改定について」について説明）

(久保田委員)

- 自衛隊との連携や調整は保健医療調整本部内ではなく、その外の災害対策本部内で行うという理解でよろしいでしょうか。

(佐川委員代理)

- 神奈川県災害対策本部の中に応急対策チームができて、自衛隊、海上保安庁、県警、消防といったさまざまな機関と連携して調整を行います。実際に災害対策本部が立ち上がりましたら、自衛隊やその他の機関から連絡員が県災害対策本部に来まして、相互に連携をとりながら調整をはかっていく予定です。補足ですが、4月1日からは災害対策本部の中に航空機運用調整班をつくりまして、航空機の運用について、実際にパイロットを入れた調整をするという取り組みを始めることになりました。

(後藤委員)

- 表面6番の他の都道府県における大規模災害への対応についてですが、薬剤師会に限らず、要請のあった段階ですぐに行くということはなかなか難しいと思いますが、普通は先遣のチームなりメンバーを派遣した後に、チームを連続的に派遣すると思います。いわゆる先に見に行く人がいるという前提で我々は考えていますが、応援要請があつてから行くのか、あらかじめ先に行くのか、要するに現地との調整もありますので、我々としては柔軟に対応できるようにして頂きたいと思います。そこがどうなっているのか教えてください。

(事務局)

- 応援要請があつてから派遣をして頂くことが基本的な考え方となります。DMATは派遣をした後に後追いで要請をするという処理をすることもあります。原則は県が派遣要請をしてから行って頂くこととなります。

(菅野委員代理)

- さきほど、航空機部門の調整部署を作るという説明がありましたが、どこの機関のパイロットが入るのでしょうか。

(佐川委員代理)

- パイロットについては、実際に運用する場面に入って、どこの組織のパイロットが来られるかということが変わってくると思います。航空機運用調整班を構成しているメンバーは、自衛隊、海上保安庁、横浜市消防、川崎市消防、県警など、航空機を持っている機関ですが、その時の運用で変わってきます。

(武内会長)

- 今日の資料には概要版(案)となっているが、4月1日から(案)がなくなるという考え方でよろしいでしょうか。この概要版は保健所設置市も含め、各市町村向けにも周知されると考えてよろしいでしょうか。

(事務局)

- 計画がきちんと決まった時点で、(案)を取って計画の本編と概要版を市町村等に送付する予定でございます。

(武内会長)

- 藤沢市の医師会も行政と調整して救護マニュアルを作っています。そのほかの医師会でもそれぞれのマニュアルができていると思いますが、なかなか今日お示し頂いた救護計画がうまく反映されていないのではないかなという気もしていますので、県の医師会を通じて、各郡市医師会にも周知しなければならないと考えています。
- 次に、「平成30年度神奈川県災害医療関係年間スケジュール(案)」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(議題ア「平成30年度神奈川県災害医療関係年間スケジュール(案)」について説明)

(渋谷委員代理)

- 国民保護訓練の予定が入っていますが、詳細はどうなっていますか。

(事務局)

- 平成31年の2月中旬か3月上旬ということで報告を受けています。具体的な日程はまだ確認取れておりません。場所は横浜スタジアムで調整中ということでございます。

(武内会長)

- 11月の緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練は神奈川県でやるのでしょうか。

(事務局)

- 今回は神奈川県が幹事県です。場所は、県内5カ所くらいに分かれて実施の予定と聞いております。

(武内会長)

	<p>○ このスケジュール案に基づいて来年度事業を実施していくということで会議としてご承認いただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(出席全委員の了承)</p> <p>(武内会長)</p> <p>○ イ「災害医療関係会議のあり方について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>(議題イ「災害医療関係会議のあり方について」について説明)</p> <p>(武内会長)</p> <p>○ 現行の体制の課題を解消するために見直し案が提示されておりますが、この件につきましてご質問ご意見ありますでしょうか。よろしければ、これも議題ということで会議としての承認を得ることが必要となりますので、今一度確認をいたします。一つ目は災害医療対策会議の下部組織にコーディネーター会議を正式に位置づける、これはさきほどの設置要綱の改正のところにもかかわってくるところでございます。その次に、コーディネーター会議の下部組織として、神奈川 DMAT 連絡協議会を位置づける、そしてさらに、神奈川 DMAT 連絡協議会に「研修部会」「訓練部会」「ロジスティクス部会」を設置するという形をお示しいただきましたが、この件につきまして、ご承認いただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(出席全委員の了承)</p> <p>○ 本日予定していた議題は以上ですが、その他については、何かありますか。</p> <p>○ 本日の議題は全て終わりましたので、進行を事務局にお返しします。</p> <p>(事務局)</p> <p>○ それでは、これもちまして会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>資料 1 神奈川県災害医療対策会議設置要綱の改正について</p> <p>資料 2 平成 29 年度神奈川県災害医療関係事業の報告について</p> <p>資料 3 神奈川県保健医療救護計画の改定について</p> <p>資料 4 平成 30 年度神奈川県災害医療関係年間スケジュール (案)</p>

	資料5 災害医療関係会議のあり方について
--	----------------------